

<令和5年度将棋同好会活動報告第五報>

令和5年10月12日

(8月28日)

○橋本-小黒戦 橋本の○

居飛車合掛かり模様から、先手小黒の早い仕掛けが功を奏し角と銀桂の交換から敵玉に迫り勝ちが見えてきたところで橋本の一か八かの攻めに対し、一手受けて玉を広くしておけば問題なかった場面で攻め合いを選び自玉の詰みが早いことを見落とし、小黒の逆転負け。

○橋本-出井戦 出井の○

出井が角交換型振り飛車を多用しており今回もその作戦。橋本の対振り飛車対策は有力で、今回も前半から中盤にかけてじっくりした攻撃体制から優勢な場面を作り上げ、必勝と思われたが、出井玉の守りが堅く、やや攻めあぐねた間に出井から反撃への対応も甘く今回も橋本の負け。見た目、橋本の優勢と思われる場面も実はそんなに差は無かったのかも。出井の振り飛車強しの感あり。

○出井-小黒戦 時間切れで次回持越し

出井の振り飛車に対し、小黒の早仕掛け。出井の反撃が始まった場面。五分五分と見られる状況。

(9月25日)

○橋本-小黒戦 小黒の○

相居飛車戦。橋本の端からの早仕掛けに対し、小黒の中央からの逆襲と不安定であった玉型を機を見た早や逃げで立て直し、橋本の攻めをしのぎ、小黒の勝ち。

○橋本-出井戦 出井の○

今回も出井は角交換型振り飛車。出井は橋本が玉を固めている間に飛車側からの棒銀戦法を採用、出井がうまく立ち回り飛車交換に持ち込み 敵陣への飛車の打ち込みを先行させ、その後の攻めも的確でそのまま難なく勝利。

○出井-小黒戦 出井の○

先月からの指し継ぎ。出井からの逆襲が開始された場面。攻めが強く小黒も良い受けが解らずそのまま押し切られた。出井の振り飛車に対し、序盤、中盤でもっと形勢に差をつけておく必要がある。出井の振り飛車強し。飛車のうまいさばきと玉の強い守りへの対抗策が必要。

○プロ将棋界動向

10月11日に藤井名人が「王座」タイトルを永瀬現王座から奪取、8大タイトルすべてを同時獲得した。今回のタイトル戦は藤井の強さというより、永瀬現王座の終盤でのポカでの2敗の印象が強く、永瀬の「将棋に勝って勝負に負けた」感。永瀬の今後に期待したい。

10月20日の鐘華会本社支部例会での同好会活動紹介レポート案を事務局に提出済み。

次回は10月30日（月曜日）